

古賀市長 田辺一城様

「道の駅」に関する質問

日々の精力的な活動に敬意を表します。

さて、田辺市長は3月5日の施政方針に関する議会での質疑に対する答弁の中で、「道の駅」について次のような趣旨の答弁をされました。

(答弁趣旨)平成31年度予算に「道の駅整備事業費」が計上された理由についての答弁趣旨は次の通りだったと思います。「道の駅」を実施するかどうかの判断時期は平成31年度になること、もしやると判断した時に予算がなければ実施が遅れること、予算を計上しておけばスムーズに実施できること。

(質問)

- ①以上の趣旨で間違いないですか。
- ②「道の駅」について2018年5月15日の庁議で当時の中村市長の判断で候補地を1ヶ所に選定したことを認識していますか。その決定を継承するのですか。
- ③市長は「道の駅」についてやるかやらないかはまだ決定していないと答弁しています。しかし、平成31年度予算案に「道の駅整備事業」が盛り込まれ、説明書によると「道の駅の整備に向けた測量・調査・設計を行う」と明記されています。市長は予算編成に当たり市長査定でこれを認めていると思います。やるかやらないかは決定していないという答弁と矛盾すると思いますがどう説明しますか。
- ④議場で答弁したように「もしやると決定した場合に速やかに事業を進められる」という説明は予算編成ではありえない説明です。市長がやるかどうか決めていない事業を予算計上することは認められないはずです。もしやると決定したなら、補正予算を提案すべきであると考えます。どう釈明しますか。
- ⑤「道の駅」の判断根拠に対話集会をあげています。3月9日の対話集会はゼロベースの対話集会ですか。それとも事業を進めるために理解を求める説明会ですか。
- ⑥昨年5月の庁議で選定された候補地の場合の総事業費は約12億円で市の実質負担は約8億円と説明されています。この財政投資と将来の財政状況への影響についてどう認識していますか。対話集会ではこの点も説明しますか。
- ⑦前市長は候補地選定の根拠として、コンサルの観光拠点設置可能性調査結果を吟味したと答弁しました。担当課からの伺い書(公文書)は無いと認めました。3月中旬に「道の駅基本計画」コンサルから提出される予定ですがどのように扱い検討する予定ですか。前市長と同じようにコンサルの成果物を吟味して市長判断で結論を出すのですか。

以上についてメールでの回答を求めます。3月9日の対話集会の前に回答をお願いします。

2019年3月6日

奴間 健司